

佐 潟 通 信

2018年3月

63号

◆ 佐潟のようすⅠ

今冬、ハクチョウがなんと8400羽飛来！



昨年夏は、ハスの減少で少し寂しい潟でしたが、この冬は雪が多く、ハクチョウやカモ類の飛来数の多さが潟を賑やかにしました。

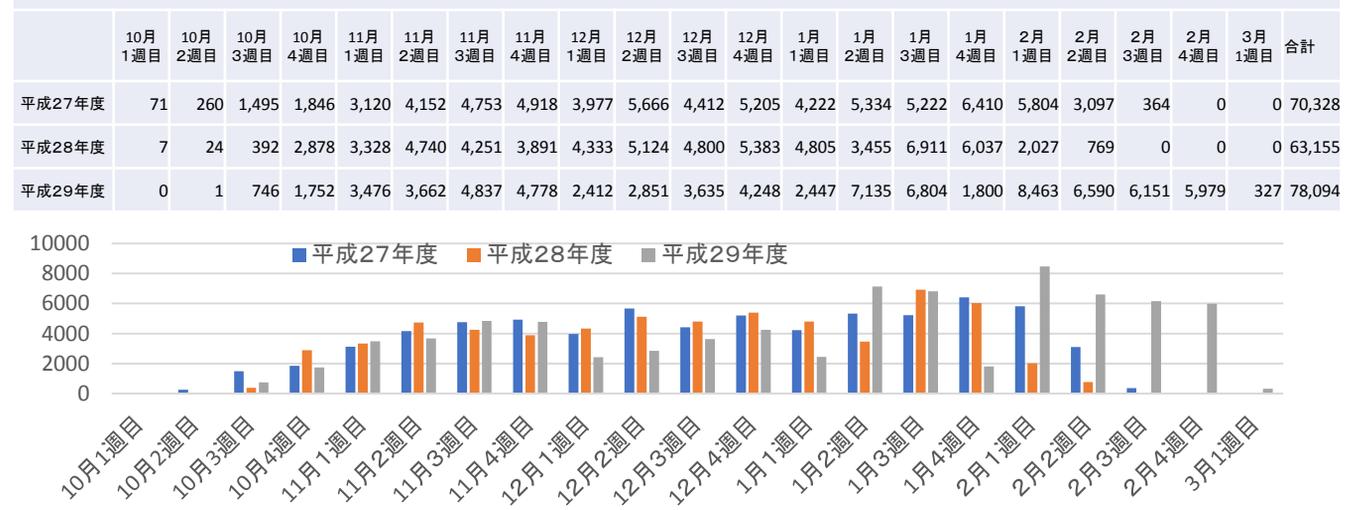
1月中旬の大雪で湖面がほぼ結氷し潟は雪景色、ガン類やカモたちは、隅の方でまとまり、ハクチョウたちは田んぼでの餌探しをあきらめて潟で休んでいる様子が観られました。

◆ 佐潟のようすⅡ

佐潟のハクチョウ飛来数

今冬のハクチョウの飛来数はグラフのとおり11月中旬から約3600羽と数が多くなり、2月上旬には大雪によって周辺の水田で採食が出来ず潟で休む個体が多かったことから、最大約8400羽となりました。2月の下旬から北帰行が始まり3月2日には残留のハクチョウ約327羽まで減りました。何回も上空高く飛び回り元気よくシベリアなどに旅立ちました。来年も会えることを願いたいと思います。

ハクチョウの飛来数(オオハクチョウ+コハクチョウ)



◆ 佐潟のようすⅢ 佐潟市民探鳥会開催 (新潟市環境政策課主催)

平成30年1月21日(日)午前7時30分から佐潟市民探鳥会が開催されました。参加者は52人で、講師の案内でハクチョウの飛び立ち、オオタカ、ノスリ等46種類の野鳥と出会えることができ楽しいバードウォッチングを体験出来ました。



飛立つハクチョウ



マガモ



ミコアイサ



ハクチョウの群れ

◆ 佐潟のようすⅣ センター企画イベント

こども向け自然体験 (さかたん)

一年を通して佐潟で田植え、潟舟乗船、自然観察、ザリガニ釣り、稲刈り&はざかけ、ハクチョウ観察を体験した子ども達が、思いを絵日記に描きました。その一部を館内に掲示中です。



私の佐潟文化祭開催

佐潟をテーマにした写真や句などの自信作が展示されました。今も佐潟を飛び回るコウノトリの絆が人気のようです。



初心者向け写真教室

1月28日講師からアドバイスをもらいつつ野鳥等の写真を撮影しました。参加者は素敵な作品が生まれたことを喜び、モチベーションをあげていました。



◆ 佐潟のようすⅤ 佐潟新春コンサート (3日間開催)

県内の実力派ミュージシャンによる和みの一時を披露しました。

2月18日
アロハノスタルジャ
& フラの皆さん

2月25日 風間優
スチールギターでアメリカ
カンポップスを演奏

3月4日 ルウ
旅するシンガーソングライター
オリジナル曲



新潟市環境政策課
主催事業

2月18日 鳥くんと一緒に鳥の魅力を探す・伝える探鳥会が開かれました。



【佐潟自然散歩】

3月～10月の第2・4土曜日
9:30～11:00 参加費無料
お申込みは不要です。
直接佐潟水鳥・湿地センターにお越しください。風雨の場合など、館内となる場合があります。

佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9:00～16:30 (冬期間11月から2月の土・日は7:00から)
【休館日】月曜日(祝休日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)
編集 佐潟水鳥・湿地センター
〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
電話025(264)3050 / FAX 025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp
発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ係
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
電話025(264)7193
佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。